

【 2018アジアジュニア選手権 】

2018年7月16日～7月26日 オマーン・サラール

試合結果報告 7 月 26 日 (木)

J P N	VS	K O R(韓国)
9	前半	12
13	後半	10
3	延長	5
25	合計	27

個人得点

名前	前半	後半	7MTC	延長	合計
平尾 克己					
高野 颯太	1	3		1	5
末岡 拓美	2	2			4
阿部 奎太		2			2
徳田 廉之介	2	4		2	8
村木 幸輝					
堀田 陽大					
矢野 世人	2	1			3
櫻井 睦哉					
中村 光					
朝野 翔一郎					
中村 翼	1				1
川崎 駿		1			1
大杉 拓巳	1				1
Kai Klampert					
磯田 健太					
合計	9	13		3	25

戦評

決勝の相手は、日本が予選ラウンドで1度負けており、今大会無敗の韓国。アジアジュニア選手権初優勝を目指す日本のスターティングメンバーは、矢野、末岡、川崎、徳田、櫻井、高野、中村(光)。日本が前半のスタートから仕掛けた7人攻撃が功を奏し、末岡、高野のポストで2連取する。波に乗りかけた日本だったが、韓国DFが徐々に7人攻撃に対応し、突き放すことができない。19分過ぎに7-8と逆転を許すと、その後、韓国のセンターNo.25 KANGIに3連続得点を許すなど、9-12で前半を終了。

後半スタートは日本のペース。開始1分25秒、川崎のミドルを皮切りに4連取し、13-12と逆転に成功する。しかし、その後はお互いに取ったら取り返すを繰り返し、1、2点差の攻防が続き、22-22の同点で後半が終了。

延長戦に向けて、攻撃、防御ともにチームとして徹底するべきことを確認した日本だったが、ミスが続いたことでなかなか得点を取ることができず、25-27の韓国勝利で試合終了。

決勝は悔しい結果となったが、来年の世界選手権に向けて、チームの成長が見えた大会だった。

報告記入者 :

船木 浩斗